



TMC情報

Vol. 150

平成30年2月号

発行所：(株)TMC経営支援センター／社会保険労務士法人TMC／(株)TMC給与計算センター／行政書士法人TMC／TMC労働保険組合／TMC司法書士事務所
〒329-3157 栃木県那須塩原市大原間西1丁目10番地6 | URL: <http://www.tmc-jinji.com/>
TEL 0287-67-3023 FAX 0287-67-3024 | MAIL: info@tmc-jinji.com

働き方改革実現セミナー 参加者募集

働き方改革が国を挙げての重要テーマとなっています。

人事労務においては、「労働時間を減らす、休日を増やす、賃金を上げる」などと言われていますが、本当にそれで経営の安定・雇用の安定が図られるのでしょうか。

TMCでは、社員の意識を変え、生産性倍増を果たすことをテーマとして、「働き方改革実現セミナー」を開催します。

また、この問題について意見交換をするため、各界からパネラーをお招きし、パネルディスカッションも行います。

是非、一人でも多くのご参加を期待しておりますので、お知り合いの方をお誘いの上ご参加いただければと思います。なお、申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

| | |
|------|--|
| 研修名 | 働き方改革実現セミナー |
| 日程 | 3月9日(金) 14時00分～16時30分 |
| 会場 | コンセーレ 1階小ホール (宇都宮市駒生1-1-6) |
| テーマ | 社員の意識を変え、生産性を倍増するために今、経営者が取り組むべきことは何か？ |
| 研修内容 | <p>第一部 14:05～15:05 基調講演 講師：(株)TMC経営支援センター 代表取締役社長 葛西美奈子</p> <p>第二部 15:15～16:30 パネルディスカッション</p> <p>【パネラー】 (株)TMC経営支援センター 常務取締役 小沼 友宏 税理士法人 澤田会計事務所 代表社員 澤田 真由美 様 社会福祉法人 信徳会 理事長 横川 恵 様 村田発條株式会社 常務取締役 磯 昭典 様</p> <p>【コーディネーター】 (株)TMC経営支援センター チーフコンサルタント 三村貴夫</p> |
| 費用 | 一人3,000円 (TMC会員は一人1,000円) ※TMC会員紹介での参加も一人1,000円 |

TMC定期セミナーのご案内

TMCでは、顧問先の皆様とのコミュニケーションを図る場を設け、サービス強化を図るために、随時、定期セミナーを開催して参ります。

今回のセミナーのテーマは、「時間管理（36協定違反事例、長時間労働問題、時間外手当問題等）」です。5会場で開催致しますので、是非、お近くのセミナーにご参加ください。

| | |
|------|---|
| 日程会場 | 【福島】2月21日（水） 於：TMC福島支店 【仙台】2月23日（金） 於：宮城野区中央市民センター第2会議室 【白河】2月23日（金） 於：TMC白河支店 【郡山】2月26日（月） 於：郡山市労働福祉会館第1会議室 【一関】3月6日（火） 於：ササキビル中野6階 開催時間はいずれも、17:30～19:00となります。 |
| 費用 | 1人 2,000円（税込・軽食付き） |
| 研修内容 | ・労働時間に関する経営者・管理者のリスクとは？ ・労働時間に関する法規制、トラブル事例 ・36協定のポイント、臨検対策、未払い残業代対策、法改正の動向 |

感染症と労務管理

感染症が流行する季節となりました。欠勤者を想定した余裕のある人員体制づくり、1人しかできない業務をなくすなど、リスクマネジメント・事業継続計画（BCM）を徹底しましょう。また、感染症に関し、次のような点にご注意ください。

○インフルエンザの取扱い

インフルエンザにかかった労働者を休ませる場合、新型と季節性で取扱いが異なります。

| 区分 | 出勤停止命令の取扱い | 休業手当の支払 |
|-----|-----------------|---------|
| 新型 | 感染症法による強制的な出勤停止 | 不要 |
| 季節性 | 会社都合による休業 | 必要 |

- ・ノロウイルスも、季節性インフルエンザと同様に取り扱います。
- ・本人の意思で休んだ場合は欠勤扱いとなり、賃金・休業手当の支払は不要です。（有給休暇申請の場合は有給となります。）
- ・同居の家族等に感染者がいる又は感染の疑いのある労働者を休ませる場合、6割の休業手当を支払う必要があります。

○感染防止のための業務命令

会社が労働者に対して、医療機関への受診等の感染防止策を強制することは、合理的な範囲であれば可能であると考えられます。

インフルエンザワクチンの予防接種は、副作用が起きることもあるため、強制することは避けた方がよいと考えられます。